

令和4年度松本薬剤師会会務並びに事業報告

自 令和4年4月1日～至 令和5年3月31日

あなた ～地域に寄り添う薬剤師に～

令和4年度も、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策に追われる年となった。大人数での会議や集合研修等は感染症対策ガイドラインを踏まえオンライン会議やWeb研修会で対応するなど、執行部は役員一丸となって事業推進に努め様々な課題に対応してきた。

さて、国は社会保障費の財源確保と財政の立て直しが急務となっており、地域包括ケアシステム構築作業が大詰めを迎えている。平成に順調に進展してきた医薬分業は、処方箋受け取り率70%を超え、より質の高い患者本位の医薬分業が求められている中、「患者のための薬局ビジョン」達成に向け、「かかりつけ薬剤師・かかりつけ薬局」の機能と役割を発揮し、地域住民・社会から信頼される取り組みを施策として進めてきた。昨年の調剤報酬改定に表れているように、薬剤師業務は、対物から対人へと移行し、服薬指導や重複防止・残薬確認、ポリファーマシーの対応など、業務の充実に努めるとともに、地域住民の健康維持、増進を支援する「健康サポート薬局」、「信州健康支援薬局」の拡充と普及、啓発等に努めた。

全職域の薬剤師が地域住民から信頼され、医薬分業の一層の質的向上と健康情報拠点としての薬局業務を充実し、地域包括ケアシステムをさらに進めるための活動に重点を置いてきた。

「地域連携薬局」および「専門医療機関連携薬局」といった特定機能を有する薬局の認定制度が新設されることにより、厚生労働省「患者のための薬局ビジョン」に示されているかかりつけ薬剤師・薬局の機能や高度薬学管理機能の充実に図り、連携推進室が活動している。連携推進室内に薬局と医療機関との連携強化を図るべく3つのワーキンググループ「外来がん化学療法連携」「吸入指導連携」「糖尿病患者フォローアップ連携」を立ち上げオンライン会議を継続している。

薬局機能に関連した取り組みでは患者のための薬局ビジョン推進事業として薬剤師・薬局から発信！「信州ACEプロジェクト」実践事業において「受けよう健診」「受けよう歯科チェック」事業を実施した。また、薬局店舗では「ご自分の血圧をご存じですか？」と来局者に声掛けし、受診勧奨や健康アドバイスをおこなった。

総務では同一賃金同一労働の施行に伴う整備として、職員就業規程やパートタイマー就業規程、給与規程等の見直しを検討してきた。

継続事業では、例年であれば薬草観察会、くすり健康教育をはじめ、松本市健康フェスティバルへの出展など行っているが昨年度も開催できなかった。しかしながら、学校薬剤師活動、災害時医療救護活動体制の整備、地域ケア会議への参画、薬剤師資質向上のための各種研修会等については開催することができた。

地域住民対象の「お薬なんでも講座」は、新型コロナウイルス感染症対策をとって21か所の福祉ひろばで開催した。また、松本市内の市民を対象に「フレイル予防講座」が行われ、市内36か所の公民館や福祉ひろばに会員を派遣し講義を行った。併せて「かかりつけ薬剤師・薬局」、「薬剤師会の役割」を広く地域住民に広報するため「今月のくすり問答」等、新聞・広報誌などを活用し、積極的な広報活動を展開した。

会営村井薬局では、地域医療推進基幹薬局としての使命を果たすため、待合スペースを有効に利用し地域住民の健康相談（ムラビット健康フェア）を定期的に行っている。また、在宅医療への積極的な取組や薬学生実務実習の受け入れを行った。多くの課題もあったが、役職員・会員の協力の下、事業推進に努めた。以下、令和4年度事業内容を報告する。

【総務・現業室 事業報告】

総務関連

1 諸規程の整備

- ① 改正育児・介護休業法への対応について検討し、法律に沿った対応に変更した。また、パートタイム労働者の最低賃金引き上げへの対応について、見直しを行った
- ② コロナ禍において、Zoom利用規程・テレワークに関する規程を作成した。
- ③ 一般社団法人松本薬剤師会会費規程の薬局会費の表記について確認し、定時総会に一部変更案を確認した。
- ④ 会営村井薬局の無菌調剤室の利用開始にあたり、利用規定を検討している。

2 院外処方箋FAXコーナーの運営、管理

信州大学医学部附属病院、丸の内病院、まつもと医療センターのFAX送信機について管理・運営を行なった。

3 薬剤師会入会促進の施策

長野県薬剤師会入会金0円キャンペーンの実施に合わせ、令和4年4月1日～6月30日に松本薬剤師会入会金0円キャンペーンを実施し、新規入会促進を図った。

4 第3回まつやくフォトコンテストの開催

コロナ禍において、今年度もゴルフコンペ、ボウリング大会は中止とし、令和4年10月10日～11月30日までの期間、第3回まつやくフォトコンテストを開催した。あなたの旅の思い出、お子様やペットなどなど“今年のベストショット”を募集した。全39作品の応募から各賞を設けて表彰を行った。

最優秀賞 ほんじょう薬局
野村 香織
「秋祭り」



5 松本市三師会との連携

コロナ禍において昨年は実施できなかった、松本市三師会懇談会は参加人数を絞って、1月23日に開催した。懇談会では、新型コロナウイルス感染症への対応状況について意見交換が行われた。

6 松薬会誌マンスリーの発行

全会員向け松薬会誌(MATUYAKU MONTHLY REPORT)を毎月10日に発行し、生涯教育講座等の報告、各種お知らせ、告知等を会員向けに情報提供した。

7 学術大会への参加促進

令和4年10月9日(日)・10月10日(月・祝)に開催された第55回日本薬剤師会学術大会(仙台)について会員に周知をした。コロナ禍で現地参加とWebを利用したハイブリッド開催となった。

令和4年9月18日（日）・9月19日（月・祝）に開催された第62回北陸信越薬剤師大会・第55回北陸信越薬剤師学術大会について会員に周知し、両大会共に参加者への参加費補助を行った。

8 薬剤師資格証の取得

HPKIカード（薬剤師資格証）取得のための説明会、HPKIカード申請者への交付を行っている。

現業関連

1 会営村井薬局の実績・事業

① 会営薬局関係実績

1) 処方せん受付枚数

令和3年度 9,813枚

令和4年度 10,907枚 比較増減(前年度比) 1,094枚 11.1%増

2) 備蓄センターとしての会員利用金額

令和3年度 15,595,105円

令和4年度 14,462,524円 比較増減(前年度比) ▲1,132,581円 ▲7.3%

② 薬学生実務実習受け入れ体制の整備

第I期（令和4年2月21日（月）～5月8日（日））に国際医療福祉大学の1名の薬学生の受け入れを行った。また、協力薬局として他の薬局の実習生を受け入れ、無菌調剤等の外部実習に協力した。

③ 在宅医療への参加

令和4年度は11名の在宅患者に合計187回の訪問を行った。

④ 会員・新規開局者のための保険調剤実務研修の受け入れ等令和4年度は研修希望者受け入れ無し。

中学生の職場体験は1名（鉢盛中1名）を受け入れた。

中学校に出向いての、出張講座を女鳥羽中学校（7/21）両小野中学校（10/5）で行なった。

⑤ お薬なんでも講座等への講師派遣

日 時	場 所	氏 名
9月12日	内田地区福祉ひろば	清水 美す江
1月23日	島立地区福祉ひろば	吉澤 貴代美
1月23日	松原地区福祉ひろば	清水 美す江
3月22日	芳川地区福祉ひろば	吉澤 貴代美

⑥ 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業（フレイル予防事業）への講師派遣を行った。

日 時	場 所	氏 名
7月27日	島立地区福祉ひろば	吉澤 貴代美

11月10日	松原地区福祉ひろば	吉澤 貴代美
11月25日	寿台3丁目集会所	清水 美す江
3月 8日	寿台1丁目公民館	清水 美す江

- ⑦ 患者のための「薬局ビジョン推進事業」の推進、薬剤師・薬局から発信！
「受けよう健診・歯科チェック」事業では、多数の患者に 健診チラシや歯科
チェックチラシの配布により受診勧奨を促した。

2 会営村井薬局の運営

① 薬局の状況

- 無菌調剤室の設置（2022.10月～稼働開始）
県立こども病院の患者1名のTPN調製を行う
- 長野県ワクチン・検査パッケージ定着促進
事業の抗原検査を実施
- コロナ経口治療薬対応薬局として治療薬の
備蓄及び調剤を行った。
- かかりつけ薬剤師、後発医薬品の推進に努
めた。
- 会員薬局への調剤用医薬品の小分業務につ
いては、医薬品の供給不足の影響もあるが、
可能な限り対応を行った。



▲無菌調剤室

② 職員の研修

松本薬剤師会で開催する研修会の他、ムラビットセミナー（薬局内の勉強会）
を年10回開催した。

③ 村井薬局ホームページによる情報提供

一般向け情報としてアクセスマップ・在宅医療支援・「おくすりばこ」を
掲載し、会員向けには薬学生実務実習の様子や小分け業務について情報提
供をしている。

④ 患者向け情報提供

- Rx-Channelを患者待合室に設置し、健康に関する様々情報を随時提供し
ている。
- 「お薬・健康相談デー」・「ムラビット
健康フェア」の開催、毎月15日頃に「ジ
ェネリック医薬品」・「熱中症」「オン
ライン資格確認」等テーマを決め「お薬
・健康相談デー」を開催し、薬のこと、
健康のことなど地域住民からの相談に対
応した。また「ムラビット健康フェア」
を今年度は未実施となったが、「プレ
頭痛カフェ」を実施した。



4/22「プレ頭痛カフェ」

○「おくすりばこ」の発行

毎月15日に患者向け情報紙「おくすりばこ」を発行し、健康に関する情報
を提供した。また、会員薬局でも「おくすりばこ」を患者さんに配布する
ツール等として利用できるように、松本薬剤師会ホームページ（会員ペー
ジ）にワードファイルを掲載している。

2022年 4月	薬の使用期限
2022年 5月	坐薬の製剤特徴
2022年 6月	お薬をまとめてもらうには
2022年 7月	目薬について
2022年 8月	ドライアイ
2022年 9月	虫刺され
2022年10月	抗原検査キット
2022年11月	なぜ植物は薬になるのか
2022年12月	下痢
2022年 1月	外用塗布剤
2022年 2月	寒冷じんましん
2022年 3月	アルコールと薬



3 実務実習の受け入れ

中信エリア実務実習受入担当者会議の開催
6/13. 8/4. 2/6

松本薬剤師会では、第Ⅰ期に6名、第Ⅲ期に
2名の薬学生を7薬局で受け入れた。

オリエンテーション・SGD・プレゼン
テーションの開催、外部実習の日程調整
及び同行を行った。



▲9/14 中間SGD

【保険医療・薬局機能室 事業報告】

1 医薬分業推進に関する事業

①松本薬剤師会管内の処方せん受付枚数（県薬会営薬局分を含む）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	
R3年度	160,808	144,994	157,898	155,952	153,705	157,334	
R4年度	172,389	155,332	162,088	160,061	164,033	166,116	
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R3年度	163,208	160,145	164,891	146,653	140,024	170,647	1,876,259
R4年度	166,772	167,192	169,866	156,107	157,143	190,536	1,987,635

（松本薬剤師会事務局調べ）

②主な病院からの松本薬剤師会管内の受付枚数

R3年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
信大病院	7704	6866	7741	7804	7544	7862	7791	7412	8115	7380	6761	8255	91235
まつもと医療センター	3902	3221	3784	3647	3702	3723	3614	3602	3829	3440	3114	3851	43429

R4年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
信大病院	7727	7245	7980	7754	8030	8169	7857	7774	8236	7699	7537	8626	94634
まつもと医療センター	3518	3483	3818	3555	3834	3647	3615	3548	3690	3244	3170	3780	42902

（松本薬剤師会事務局調べ）

2 休日・夜間処方せん応需関係

- ① 松本市（平日夜間<18:00～21:00>1薬局・休日昼間<9:00～19:00>2薬局）、塩尻市（休日昼間<9:00～18:00>1薬局）、休日・夜間当番薬局制度を実施。年間処方せん受付枚数は松本市4,603枚、塩尻市521枚。
- ② 休日・夜間院外処方せん応需体制整備に伴い、松本市より補助金1,043,000円、塩尻市より事業委託料248,500円の交付を受ける。

3 在宅医療・介護への取り組み

地域ケア会議への参画を行い、地区参加者代表より報告書を提出いただき、松本薬剤師会ホームページを活用して掲載し、情報の共有化を行った。

4 薬局機能に関連した取り組み

令和4年度地域における薬剤師・薬局の機能強化及び調査・検討事業として、薬剤師・薬局から発信！「信州ACEプロジェクト」事業を実施し来局者への声掛けを行った。

5 糖尿病性腎症重症化予防医薬連携による地域薬局を活用した保健事業への取り組み

松本市受託事業「糖尿病性腎症重症化予防・医薬連携による地域薬局を活用した保健事業」は今年度8年目に入った。令和4年度の本事業への参加は9薬局・9医療機関で実施し、松本市国保の患者8名協会けんぽの患者1名に実施した。

6 「信州健康支援薬局」普及に向けた取り組み

平成27年9月1日より運用が開始された長野県薬剤師会認定「信州健康支援薬局」については、引き続き未認定の会員薬局への認定普及活動を行った。令和5年3月末現在の認定率は57%となった。



7 令和4年度市町村国保の適正服薬指導に対する薬剤師会連携推進事業への取り組み

- ・塩尻市では、適正服薬指導の保健指導内容に対する、薬学的な助言として、向精神薬の重複受診、頻回投薬されている方達への薬剤師の視点からのアプローチ方法の相談や提案等の具体的なアドバイスをを行った。

塩尻市 12/12 塩尻市役所 塩尻ひまわり薬局 米倉 沙織

- ・筑北村では、適正服薬指導の保健指導内容に対する、薬学的な助言を行った。

筑北村 11/15・12/6 筑北村役場 サカキタ薬局 篠町知尚

- ・山形村では、適正服薬指導の保健指導内容に対する、薬学的な助言を行った。

山形村 10/6・10/7 山形村役場 山形はやし薬局 塩原 崇

8 調剤報酬改定への対応

12月6日（火）第291回生涯教育講座において、保険・薬局委員会の伝達講習として、①リフィル処方箋への対応②一般用医薬品販売について③オンライン資格確認について④電子処方箋について⑤個別指導での指摘事項について説明等の伝達を行った。

9 地域包括ケアシステムへの取り組み

医療と介護の連携強化を図るため松本市地域包括ケアシステム協議会と自立支援型個別ケア会議の検討会への出席及び、多職種連携研修会への参加を行った。

▼協議会及び検討会への出席

8月2日 松本市地域包括ケア運営協議会

2月7日 松本市自立支援型個別会議検討会

▼地域ケア会議への参加

地域ケア会議の日程、報告書書式などを松本薬剤師会ホームページに掲載して会員に周知をした。

日程	地区	開催場所
4月26日	梓川地区	梓川公民館
6月25日	城北地区	城北公民館
8月30日	波田地区	波田保健センター
12月16日	島立地区	島立地区公民館
1月13日	新村地区	新村公民館
3月2日	東部地区	東部公民館

▼自立支援型個別ケア会議への参加

日程	地域	地域	出席者
4月26日	中央北	北部	赤羽 正明
5月19日	中央西	河西部	高山 順

6月21日	河西部西		宇塚 隆之
6月23日	南部	南西部	小泉 真知子
6月24日	中央南包括		百瀬 佳代子
6月29日	南西部包括		梅村 久美子
7月13日	中央北包括		米山 大輔
7月21日	河西部西	西部	北原 栄子
7月26日	南部エリア		田多井健介
8月 4日	東部包括		星河 淑美
8月26日	中央南	南東部	園田 大吾
9月22日	東部	中央	降旗 敏文
10月12日	島内	島立	清水 佳代子
10月28日	北部	中央北	吉田 宗生
11月11日	南東部地域包括		吉澤 貴代美
11月24日	河西部	中央西	瀧川 和正
11月26日	中央エリア		木村 紗也加
12月14日	北部包括		原田 恵里
12月22日	南西部	南部	徳武 一秀
1月26日	西部	河西部西	沢田 悦子
2月24日	南東部	中央南	杉澤 哲
3月24日	中央	東部	田多井 尚世

1 0 松薬関係会議・事業報告

- ①保険・薬局委員会 4/8.5/9.6/8.7/8.8/8.9/8.11/8.12/8.2/9.3/8
 ・県薬研修会等の伝達講習会講師、個別指導における指摘事項概要の伝達、調剤過誤報告事例の伝達、会員からの保険薬局業務に関する質問対応、個別指導等への事前確認、立会いの対応を行った。

②保険薬局個別指導

新規2件、再指導1軒の立会いを行った。

12月 9日	個別指導	(新規2薬局)	松本合同庁舎
2月17日	個別指導	(再指導1薬局)	松本合同庁舎

③松本市等委託事業関係

○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業

松本市では高齢者の増加を見据え、高齢者の介護予防の視点を取り入れ、「フレイル予防講座」を重点的に実施する事業が2年目を迎え、本会では薬剤師を派遣して、フレイル予防講演他、お薬に関する話、個別の指導等を行った。

松本市「フレイル予防講座」36か所/参加者：780名

日程	開催場所	講師名	参加人数
6月22日(水)	岡田地区福祉ひろば	佐藤 悠介	8
6月29日(水)	南荒井東公民館	久保田 貞	18
6月30日(木)	今井公園西町会多目的ホール	山極 健太郎	15
7月19日(火)	安原地区福祉ひろば	吉村 雄次郎	23
7月20日(水)	小松町公民館	星河 淑美	10
7月21日(木)	四賀ピナスホール	佐藤 悠介	8

7月25日(月)	梓川地区福祉ひろば	青木 英則	21
7月27日(水)	本郷地区福祉ひろば	岡野 功二郎	24
7月27日(水)	島立地区福祉ひろば	吉澤 貴代美	23
7月27日(水)	島立地区福祉ひろば	吉澤 貴代美	15
8月1日(月)	四賀 ピナスホール	木村 健	12
8月17日(水)	庄内地区福祉ひろば	窪田 靖	24
8月19日(金)	神林地区福祉ひろば①	高田 弘子	32
8月26日(金)	神林地区福祉ひろば②	土屋 由美子	38
9月7日(水)	入山辺地区福祉ひろば	窪田 靖	28
9月20日(火)	寿台ふれあいセンター	杉澤 哲	16
10月17日(月)	中山地区福祉ひろば	百瀬 佳代子	38
10月21日(金)	松南地区福祉ひろば	田多井 健介	52
10月26日(水)	元町北区公民館	相澤 亜希	10
11月4日(金)	田川地区福祉ひろば	杉澤 哲	20
11月10日(木)	松原地区福祉ひろば	吉澤 貴代美	31
11月11日(金)	島内地区福祉ひろば	富山 有希	51
11月14日(月)	元町南公民館	佐々木 捷晴	15
11月16日(水)	埋橋公民館	浅野 未代子	10
11月16日(水)	里山辺西荒町公民館	村田 稔弥	10
11月17日(木)	中央地区福祉ひろば	中村 梢	10
11月21日(月)	本郷地区南郷福祉ひろば	小笠原 博之	39
11月25日(金)	寿台3丁目集会所	清水 美す江	17
11月30日(水)	白板地区福祉ひろば	由比ヶ浜 宏	16
1月4日(水)	城東地区福祉ひろば	小林 寛美	33
1月17日(火)	上金井公民館	金井 真太郎	12
1月31日(火)	城北地区福祉ひろば	吉村 雄次郎	27
2月8日(水)	新町町会公民館	相澤 亜希	20
3月8日(水)	寿台1丁目公民館	清水 美す江	11
3月10日(金)	奈川地区福祉ひろば	本保 武俊	28
3月24日(金)	岡田地区福祉ひろば	佐藤 悠介	15

○松本市小児科・内科夜間急病センターに勤務する6名の当番表の作成及び日程調整を行った。また、新規勤務者の募集を行った。

○新型コロナウイルス感染症に関係する、医療用抗原検査キット取り扱い薬局・経口治療薬の取り扱い薬局の取りまとめを行った

【広報学術・地域社会室 事業報告】

広報学術関係

1 生涯教育講座の開催（主テーマ・講師）

松本薬剤師会第283回生涯教育講座

日時 2022年4月19日（火）19時30分～

場所 ZoomによるWeb参加

内容

情報提供 「バイオシミラーについて」 第一三共株式会社

特別講演 「どこまで進歩した？（内視鏡検査・治療・IBD治療・がん治療）」

信州大学医学部附属病院

内視鏡センター 副センター長・准教授 長屋匡信 先生

松本薬剤師会第284回生涯教育講座

日時 2022年5月17日（火）19時30分～

場所 ZoomによるWeb参加

内容 情報提供 「ツムラ生薬GACPによる生産管理」

株式会社ツムラ 東京支店 医薬情報課 遠藤奈央氏

特別講演 「薬剤師の対人業務に役立つ漢方医学の診断法

～セルフメディケーションの視点を踏まえて～」

東北大学大学院 医学系研究科

漢方・統合医療学共同研究講座 講師 大澤稔先生

松本薬剤師会第285回生涯教育講座

日時 2022年6月21日（火）19時30分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容 情報提供「口腔ケアジェル ヒノーラのご紹介」（株）大塚製薬工場

基調講演 「急性心筋梗塞患者に対する当院での薬剤師の関わり」

社会医療法人財団慈泉会 相澤病院

薬剤センター 宮武 智哉 先生

特別講演 「知っておこう口腔のこと ～栄養と口腔ケアの重要性～」

信州大学医学部 歯科口腔外科学教室 教授 栗田浩先生

松本薬剤師会第286回生涯教育講座

日時 2022年7月19日（火）19時30分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容 情報提供「喘息治療配合剤 フルティフォーム」杏林製薬株式会社

一般講演 座長：信州大学医学部附属病院 薬剤部

副薬剤部長 土屋広行先生

「適切な吸入指導のポイント～pMDIで実践～」

信州大学医学部附属病院 薬剤部 小原美保先生

特別講演 「喘息患者の実践的な吸入指導」

信州大学医学部保健学科 生体情報検査学 教授 安尾将法先生

松本薬剤師会第287回生涯教育講座

日時 2022年8月23日（火）19時30分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容

一般講演 睡眠導入剤について、院内における薬剤師の

取り組みについて」

社会医療法人財団慈泉会相澤病院 薬剤センター
医薬品情報管理室細川 理博先生

特別講演 「EBM精神医学の限界
～リエゾン精神科臨床医からの提言とお願い～」
社会医療法人財団慈泉会相澤病院
精神神経科統括医長 柳澤透先生

松本薬剤師会第288回生涯教育講座

日時 2022年9月20日（火）19時30分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容

講演 「医療用麻薬の適正管理について」

長野県健康福祉部 薬事管理課 麻薬毒劇物係 松原巧様

松本薬剤師会第289回生涯教育講座

日時 2022年10月18日（火）19時00分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容 実務実習最終プレゼンテーション

講演 「薬局における糖尿病患者の療養支援 ～進展を予防するために～」

杏林大学医学部附属病院 薬剤部 小林庸子先生

藤沢市民病院 薬局 駒井元彦先生

第24回松本薬剤師会学術交流会 （第290回生涯教育講座）

日時 2022年11月16日（水）19時30分～

場所 ウェビナーによるオンライン開催

内容

特別講演 「大学病院における教育・人材育成とその先にある目指す
未来と薬剤師像」

信州大学医学部附属病院 薬剤部 教授・薬剤部長 内藤隆文先生

一般演題 「医薬品卸の物流機能について」

鍋林株式会社 阪野茂生先生

「やってみよう抗原検査！立ち上がれ薬剤師！」

加賀美薬局 金井真太郎先生

「我が国における超過死亡の検討」

福澤正人先生

「病棟薬剤業務の若手薬剤師育成と情報共有に向けた取り組み」

社会医療法人財団慈泉会 相澤病院 薬剤センター 井出悠斗先生

「院外処方せん疑義照会簡素化プロトコル導入における効果と今後の
展望について」

国立病院機構まつもと医療センター 薬剤部 川合美羽先生

松本薬剤師会第291回生涯教育講座

日時 2022年12月6日（火）19時30分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容 伝達 「保険・薬局委員会 伝達講習」

リフィル処方箋への対応

一般用医薬品販売について

オンライン資格確認について
電子処方箋について
個別指導での指摘事項について

松本薬剤師会第292回生涯教育講座

日時 2022年1月17日（火）19時30分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容

特別講演 「月経困難症に対するホルモン療法」
～ライフステージに合った薬の選択～
医療法人 草生会 ほりうちレディースクリニック
院長 堀内晶子先生

松本薬剤師会第293回生涯教育講座

日時 2022年2月21日（火）19時30分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容

一般講演 「腸から健康を考える ～古くて新しい腸内細菌の話～」
ビオフェルミン製薬株式会社 マーケティング部
学術情報グループ 船岡 広司 先生

特別講演 「糖尿病治療のUp Date」
安曇野赤十字病院 糖尿病・内分泌内科 石井宏明先生

松本薬剤師会第294回生涯教育講座

日時 2022年3月22日（水）19時30分～

場所 Zoom（ウェビナー）によるWeb参加

内容

講演 「薬薬連携の推進について」 ～ 連携ツールの有効活用 ～
連携推進の意義について
糖尿病薬指導連携ワーキンググループ
吸入指導連携ワーキンググループ
松本がん連携ワーキンググループ



• 動画中の間違いを以下の5つの選択肢から2つ
選択しアンケートを入力してください。

- ①吸入前にポンペを振らない
- ②吸入前に息吐きをしない
- ③吸入の同調ができない
- ④吸入後の息止めをしない
- ⑤吸入後にうがいをしない



2 中信がん薬薬ワーキンググループによる「がん薬薬連携勉強会」の開催

松本の2次医療圏において、円滑な地域連携（薬薬連携）が図れるような活動を行うことを目的に、令和4年度は12回の勉強会を開催した。

第60回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年4月28日（木）19時00分～
テーマ 「がん患者の薬物療法への一歩」
講演 「がん領域の薬物療法へ一歩を踏み出すための基礎知識」
講師 信州大学医学部附属病院 薬剤部 井出貴之先生
講義 「がん領域認定薬剤師・病院実習経験した薬局薬剤師が考えるがん患者に服薬指導・服薬フォローするための勉強方法」
講師 長野県中信地域でがん薬物療法認定薬剤師の皆様
長野県中信地域において病院実習を経験した薬局薬剤師の皆様

第61回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年5月24日（火）19時00分～
テーマ 「胃がん ベーシック」
解説 社会医療財団慈泉会相澤病院薬剤センター
化学療法室主任 野村充俊先生

第62回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会のお知らせ

日時 2022年6月30日（木）19時00分～
特別講演 「胃癌診療の最前線」
杏林大学医学部 客員教授 佼成病院 副院長 高橋信一先生
ディスカッション
「胃がんの薬物療法 ～薬薬連携を考える～」
福岡大学薬学部 実務薬剤学 教授 緒方憲太郎先生

第63回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年7月14日（木）19時00分～
テーマ 「大腸がん ベーシック」
ディスカッション
大腸がん患者に対する服薬指導・フォローアップについての
意見交換 大腸がんの治療の流れ～フォローアップまでの解説
大腸がん症例提示に対する服薬指導・フォローアップの一例
解説 安曇野赤十字病院 薬剤部 平林克博先生

第64回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年8月25日（木）19時00分～
基調講演 「支持療法（悪心・嘔吐）」
演者 社会医療財団慈泉会相澤病院 薬剤センター
化学療法室 主任 野村充俊先生
特別講演 「大腸癌治療 ～診断から治療まで～」
演者 北海道大学病院 腫瘍センター 診療教授 小松嘉人先生

第65回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年9月15日（木）19時00分～
テーマ 「肺がん ベーシック」

ディスカッション

肺がん患者に対する服薬指導・フォローアップについての
意見交換、発表

肺がんの病態、治療の流れ

肺がん症例提示に対する服薬指導・フォローアップの一例

第66回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年10月20日(木) 19時00分～

特別講演 「肺がん薬物療法 — 最新アップデート —」

講師 信州大学医学部附属病院

呼吸器・感染症・アレルギー内科 助教 曾根原圭先生

第67回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年11月24日(木) 19時00分～

テーマ 「乳がんホルモン療法 ベーシック」

ディスカッション

乳がんホルモン療法患者の服薬指導・フォローアップについての

乳がんホルモン療法の概要～フォローアップまでの解説

フォローアップの一例

解説 長野県立木曽病院 薬剤部 松原重征先生

第68回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年12月16日(金) 19時00分～

情報提供 「栄養管理のトピックスについて」 (株)大塚製薬工場

基調講演 「がん化学療法における経口補水液利用について」

講師 相澤病院 がん薬物療法専門薬剤師 中村久美先生

特別講演 「乳癌治療のZ世代、α世代」

講師 相澤病院 外科センター 乳腺・甲状腺外科

統括医長 橋都透子先生

第69回 中信がん薬薬連携勉強会

日時 2022年1月25日(水) 19時00分～

場所 相澤病院 ヤマサホール 2階 大会議室

講演 「緩和ケアにおける携帯型ディスプレイ注ポンプの
取扱いについて」

講師 ニプロ株式会社 事業戦略室 水谷良夫氏

第70回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年2月22日(水) 19時00分～

特別講演 「がん診療に役立つ CIPN マネジメント」

講師 札幌医科大学 腫瘍内科 助教 吉田 真誠 先生

第71回 中信がん薬薬連携 WEB 勉強会

日時 2022年3月6日(月) 19時00分～

基調講演 「大腸がん患者さんの薬薬連携事例」

演者 相澤病院 薬剤センター がん薬物療法専門薬剤師

課長 中村久美先生

特別講演 がん・緩和在宅医療に薬剤師がどうかかわるか



▲1/25 第69回 中信がん薬薬連携勉強会

3 「今月の“くすり問答”」による市民への周知

毎月1日に市民タイム誌上へ、お薬に関する素朴な疑問にお答えするコーナー「今月の“くすり問答”」を掲載し、さらに詳しい情報を松本薬剤師会ホームページで情報提供した。

- | | |
|-----------|---|
| 2022年3月号 | 漢方薬にも副作用はあるのでしょうか？ |
| 2022年4月号 | お薬にも使用期限はありますか？ |
| 2022年5月号 | 子どもに吐き気止めと解熱剤の坐薬が処方されました。どういふ順番で使えばいいですか？ |
| 2022年6月号 | 別々に出された薬をまとめてもらうことはできますか？ |
| 2022年7月号 | 2種類以上の目薬をさす時は、間隔を何分あけたらよいですか？ |
| 2022年8月号 | 目が乾くのですが、何か良い目薬はありますか？ |
| 2022年9月号 | 子どもが蚊に刺されました。お薬はありますか？ |
| 2022年10月号 | 抗原検査キットにはいくつか種類があると聞いたのですが。 |
| 2022年11月号 | 医薬品の原料に植物由来の成分が多いのはなぜでしょう？ |
| 2022年12月号 | 下痢の時はどんな薬を飲めばよいですか？ |
| 2022年1月号 | 保湿剤とステロイド剤はどっちを先に塗ったらいいですか？ |
| 2022年2月号 | 寒くなると「じんましん」が出やすいのですが、良い市販薬はありますか？ |
| 2022年3月号 | お酒が薬に及ぼす影響について教えてください |

◎松薬ホームページ 今月の“くすり問答” その181 2022年7月号

薬の飲み方Q&A 

その181 (2022年7月号)

Q

2種類以上の目薬をさす時は、間隔を何分あけたらよいですか？

A

2種類以上の目薬を同じ時間にさす時は、間隔を5分以上あけてからさすようにして下さい。続けてさしてしまうと、先にさした目薬が十分に効かないうちに洗い流されてしまいます。詳しくは、薬剤師にお気軽にご相談下さい。

地域社会関連

1 松本市等委託事業関係

① 高齢者お薬相談支援事業

松本市内の福祉ひろば並びに近隣地区での「お薬なんでも講座」を開催し、令和4年度は“くすりの常識 ウソ？ホント？”をテーマに講演を行った。

松本市お薬なんでも講座：21ヶ所／参加者：511名

開催日	開催場所	講師	参加人数
令和4年9月6日	城東地区福祉ひろば	吉田 宗生	31
令和4年9月12日	内田地区福祉ひろば	清水 美す江	25
令和4年9月28日	新村地区福祉ひろば	青木 英則	12
令和4年9月28日	本郷地区福祉ひろば	岡野 功二郎	26
令和4年10月11日	鎌田地区福祉ひろば	浅野 未代子	26
令和4年10月20日	中央地区福祉ひろば	橋爪 将人	14
令和4年11月10日	白板地区福祉ひろば	大塚 修一	7
令和4年12月1日	田川地区福祉ひろば	富山 有希	19
令和5年1月11日	入山辺地区福祉ひろば	窪田 靖	25
令和5年1月23日	島立地区福祉ひろば	吉澤 貴代美	16
令和5年1月26日	四賀地区福祉ひろば	佐藤 悠介	13
令和5年2月2日	東部地区福祉ひろば	小笠原 博之	16
令和5年2月3日	島内地区福祉ひろば	本保 武俊	32
令和5年2月9日	松原地区福祉ひろば	清水 美す江	36
令和5年2月13日	中山地区福祉ひろば	杉村 公恵	42
令和5年2月16日	笹賀地区福祉ひろば	高田 弘子	22
令和5年3月13日	庄内地区福祉ひろば	相澤 亜希	25
令和5年3月15日	寿地区福祉ひろば	杉澤 哲	27
令和5年3月15日	梓川地区福祉ひろば	木村 健	37
令和5年3月22日	芳川地区福祉ひろば	吉澤 貴代美	34
令和5年3月30日	城北地区福祉ひろば	赤羽 正明	26



▲9.28 新村地区福祉ひろば



▲3.13 庄内地区福祉ひろば

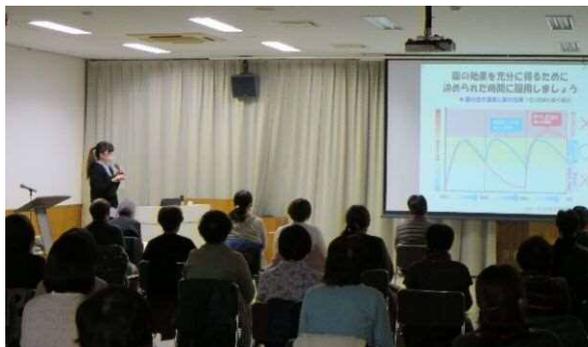
2 塩筑地域包括医療協議会地域保健医療推進事業

①「お薬なんでも講座」

○9月8日に朝日村中央公民館で実施し24名の参加者があった。

○1月20日に生坂村健管理センターで実施し10名の参加者があった。

○2月18日に塩尻市保健福祉センターで午前・午後の2回実施し200名以上の参加者があった。



▲2/13 塩尻市保健福祉センター（講師：米倉沙織）

3 献血事業

4月5日（火）午前10時より午後15時30分までイオン南松本店で行われ、35名の方から献血にご協力いただいた。特に医薬品卸の皆様より多数の協力をいただいた。



4 放射性物質事故災害における安定ヨウ素剤の調製・保管

令和4年度も松本市より安定ヨウ素剤の調製・保管の委託を受け、分包剤7,240包を作成し会営村井薬局・県薬会営薬局・ほんじょう薬局・松本市夜間急病センターにそれぞれ保管をした。

塩尻市は令和4年度分包剤の製剤業務はなく保管業務のみであった。



【学校薬剤師部会 事業報告】

(1) 小中高校生等に対する薬物乱用防止啓発活動

日 程	学 校 名	講 師
5月2日	信大附属松本小学校	黒岩 直樹
6月14日	芳川小学校	根橋 美文
6月14日	高綱中学校	牧田 壽男
6月15日	塩尻志学館高等学校	田多井 健介
6月20日	堀金中学校	田多井 健介
6月27日	菅野中学校	花村 翔平
6月29日	波田小学校	太田 直樹
7月6日	梓川中学校	田多井 健介
7月8日	丸ノ内中学校	田多井 健介
7月11日	松島中学校	中村 梢
7月11日	塩尻西小学校	立石 イサ子
7月13日	鉢盛中学校	高山 秀一
7月14日	信明中学校	澤登 保子
7月19日	筑摩野中学校	花村 翔平
9月22日	会田中学校	高田 真理子
10月4日	田川小学校	田多井 尚世
10月6日	蟻ヶ崎高等学校	小笠原 博之
10月20日	鎌田中学校	田多井 健介
10月19日	岡田小学校	由比ヶ浜 友希子
10月25日	女鳥羽中学校	上原 功
10月25日	松本国際中学校	吉澤 貴代美
10月27日	清水中学校	花村 翔平
11月21日	松本国際高等学校	吉澤 貴代美
11月22日	四賀小学校	高田 真理子
11月22日	宗賀小学校	長野 典子
11月28日	生坂中学校	佐藤 祐一
12月1日	才教学園小学校	高田 弘子
12月1日	才教学園中学校	高田 弘子
12月8日	朝日小学校	沢田 悦子
12月16日	開智小学校	田多井 健介
12月19日	旭町小学校	石田 秀子
12月20日	寿台養護学校 松本ろう学校	川上 正喜
12月21日	二子小学校	吉澤 貴代美
12月22日	奈川小中学校	花村 翔平
1月12日	島立小学校	高田 弘子
1月18日	中山小学校	百瀬 佳代子
1月25日	広丘小学校	大輪 武司
2月13日	丸ノ内中学校	田多井 健介
2月15日	中山小学校	百瀬 佳代子
2月24日	寿小学校	宮澤 智絵
3月2日	穂高東中学校	田多井 健介

(2) 学校環境衛生改善のための活動

[指導・助言]

- ・ 学校プール水の検査 ・ 飲料水の検査 ・ 給食設備検査
- ・ 揮発性化学物質（ホルムアルデヒド等）の検査
- ・ ダニ及びダニアレルゲン検査 ・ 教室内の照度・空気検査

(3) 学校薬剤師会資質向上のための活動

- ・ 学校薬剤師研修会（新人研修） 6月16日 松本薬剤師会会議室

[その他]

- | | | |
|-----------------|-------|----|
| ・ 松本市教育委員会打ち合わせ | 5月26日 | 吉村 |
| ・ 塩尻市学校薬剤師打ち合わせ | 4月27日 | 大輪 |
| ・ 長野県学校薬剤師部会会議 | 3月7日 | 大輪 |

【連携推進室 事業報告】

1. 薬薬連携WGの活動について

薬薬連携の推進を目的とし、以下のWGを開催し薬薬連携の推進に努め、WGの活動報告を生涯教育講座で行った。

① 外来がん化学療法における薬薬連携WG

外来化学療法を受ける患者が増加し、副作用マネジメントも複雑化しており、保険医療機関と保険薬局における綿密な情報共有が重要であるとともに、薬局薬剤師のフォローアップ業務には、患者の理解・協力も不可欠であることから、患者に薬局薬剤師のフォローアップ等の業務を理解してもらうための資料を作成し運用を検討した。また、病薬と開局の連携を深めることが患者利益の増大に貢献するとし、緊密な情報交換の機会を作り、連携有効事例の共有を行った。活動成果を生涯教育講座で報告した。

② 糖尿病治療患者のフォローアップWG

インスリン製剤及びスルフォニル製剤等の重大な副作用である低血糖の予防等の観点のため、これらの薬剤を服用している患者への薬局薬剤師のフォローアップ業務が調剤報酬においても評価されるようになった。連携が円滑かつ有用に行われるよう、トレーシングレポートの様式等を作成し、昨年度より運用を開始した。昨年度作成したトレーシングレポートの様式を活用し、その成果を生涯教育講座で共有した。

③ 吸入指導連携WG

気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）の吸入療法における医療機関と薬局の連携は一部の医療機関では連携が行われているが、さらに多くの保険薬局と医療機関の連携を深め、また指導スキルの向上を図るため、「指導用資料の作成」「吸入指導研修会の開催」「報告書の様式」を実施、昨年度より運用開始した。生涯教育講座にて運用の現状を報告した。

【病診部会 事業報告】

○第1回支部総会 文書確認

2021年度活動報告、会計報告、2022年度事業計画、予算について

☆第1回研修会（参加者：36名）

日 時：令和4年7月29日（金）19：00～20：30

会 場：Web会議ツール(ZOOM)による配信

演題名：『優しさを伝えるケア技術 ユマニチュード®』

講 師：東京医療センター 総合内科 本田美和子 先生

☆第2回研修会（参加者：100名）

日 時：令和4年9月30日（金）19：00～20：30

会 場：Web会議ツール(ZOOM)による配信

講演 1：19：00～19：20

演題名：『輸液製剤の外観をリスクマネージメントから斬る～ゴム栓の混注穿刺部位/びん針穿刺部位周知の重要性～』

演 者：市立大町総合病院 診療技術部 薬剤科 深井 康臣

講演 2：19：20～20：30

演題名：『輸液の基礎～水電解質から栄養輸液まで～』

講 師：(株)大塚製薬工場 本社学術部 小鶴 泰俊 先生

☆第3回研修会（参加者：83名）

日 時：令和4年12月16日（金）19：00～20：45

会 場：Web会議ツール(ZOOM)による配信

講演 1：19：00～20：30

演題名：『周術期における薬学的管理と診療報酬対応と課題』

講 師：広島大学病院 薬剤部 副薬剤部長 柴田 ゆうか先生

☆第4回研修会（参加者：86名）

日時：2022年 3月 10日（金）19：00～20：40

会場：ブラウザを通じたWeb配信

講演 1

演題名：「短腸症候群患者の治療のコツ」

演者：昭和大学薬学部 臨床薬学講座 臨床栄養代謝学部門 教授

昭和大学医学部 小児外科学講座 兼担 千葉 正博 先生

講演 2

演題名：「ポリファーマシー対策を実践するための手法～薬剤適正使用のために薬剤師ができること～」

演者：三豊総合病院 副薬剤部長 篠永 浩 先生

☆松薬学術交流会 11月16日（水）

☆中信がん薬薬連携勉強会 共催 13回

◇第1回役員会 7月21日19：00～20：00 ZOOMにて

◇第2回役員会 3月23日20：00～21：00 ZOOMにて